

## 「ぶんぶんひろば」における授業の実践 「セミナーⅠ」

(赤ちゃんふれあい体験)  
(短期大学・保育学科1年生)

### 1、授業の目的

短期大学保育学科では、11月初旬の教育実習(幼稚園実習)まで、1年生が幼児と触れ合う機会はない。4月に入学して約4か月間は、1コマ90分の授業を、ほとんど毎日4～5科目座学で学習するという、厳しい授業内容となる。そこで、少しでも幼児に触れることのできる時間を設定し保育へのモチベーションを高めることを目的とし、「赤ちゃんふれあい体験」を、セミナーⅠの時間に設定した。

### 2、授業の内容

#### (1) 事前の準備

絵本「いっさいはん」(さく・え みんち、岩崎書店)を使い、事前に1歳半を中心に、赤ちゃんはどのような発達を示すかを学習しておく。

#### (2) 実施内容

1年生102名を、G1, G2, G3(グループ1, 2, 3)の3つのグループに分ける。さらに1グループを6つの班に分け、事前に、子育て中の保護者に質問したいことを話し合っておく。

#### (3) 当日の行動

1日に一グループずつぶんぶんひろばに入り、6家族(あらかじめ募集している協力家族)の1家族につき10分をめぐり、質問、回答、赤ちゃんとのふれあいの時間を過ごす。時間が来たら声をかけ、順次、交代していく。質疑の内容を記録用紙に記入する。

### 3、実施の状況

#### (1) 日時

- ・G1: 2017年6月7日(水) 13:05～14:15
- ・G2: 2017年6月14日(水) 13:05～14:15
- ・G3: 2017年6月21日(水) 13:05～14:15

#### (2) 場所: 広島文化学園ぶんぶんひろば



写真1 人形を使って、抱っこの練習

### 3、学生の感想

- ・一人ひとり、生まれた時の大きさも違うし、同じくらいの月齢でも性格が違っていて、見ていて興味がわきました。
- ・原始反射は一人しか確認できなかったけど、指をつかんでいて、習った通りだなと思いました。
- ・一歳ならではのことができることがたくさん見られて良かったです。
- ・お母さんたちの苦労はみんな一緒なんだなと思った一日でした。
- ・子どもたちが笑ってくれたり、握手してくれたりして、表情や行動で表してくれたので嬉しかったです。
- ・子どもは大人がすることをよく見て真似をしているんだなと思いました。
- ・妊娠中や産後のお話など、貴重なお話をたくさん聞くことができて、子育てというものはとても大変なんだなと思いました。



図1 絵本  
「いっさいはん」



写真2 子どもさんと遊んだり記録したり忙しい時間



写真3 抱っこはやっぱり難しい！

(文責: 保育学科 田頭 伸子)